

名古屋大学大学院環境学研究科・助教公募要領

1	募 集 件 名	助教の公募	
2	所 属	大学院環境学研究科 都市環境学専攻 建築構造システム講座	
3	募 集 内 容	<p>[職務内容（業務内容、担当科目等）]</p> <p>環境学研究科都市環境学専攻 建築構造システム講座（建築学系）では、安全で持続可能な建築・都市環境形成のために、鋼構造、鉄筋コンクリート構造、及び木質構造等の各種構造と複合構造、大規模空間構造、免震・制震構造の設計法、建築材料の性能評価・性能設計、新材料の開発を中心に教育と研究を行い、資源循環型構造システムの構築を目指している。</p> <p>（雇入れ直後）</p> <p>以下の業務内容、担当科目等に従事する。</p> <p>1) 大学院教育では建築構造学、建築材料学、建築耐震工学、建築防災学のいずれかの分野に関する専門・実習科目を担当する。学部教育では建築構造学と建築材料学に関する実習科目を担当するとともに、建築学全般の基礎演習・実習科目（一部）を支援する。</p> <p>2) 環境学研究科が推進する「持続性学」または「安全・安心学」に関連した先端的かつ挑戦的な研究を行う。</p> <p><担当授業科目></p> <p>(1) 大学院</p> <p>博士前期課程：建築構造システムセミナー（30 コマ）</p> <p>博士後期課程：建築構造システムセミナー（30 コマ）</p> <p>(2) 学部</p> <p>構造・材料実験法（15 コマ）、卒業研究 A（30 コマ）・B（30 コマ）の補助、建築学全般の基礎演習・実習科目（一部）</p> <p>（変更の範囲）</p> <p>東海国立大学機構が指定する業務</p> <p>[勤務地]</p> <p>（雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区</p> <p>（変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所</p> <p>[募集人員] 助教・1 名</p> <p>[着任時期] 2026 年 8 月 1 日以降の早い時期、遅くとも 2026 年 10 月 1 日に着任</p>	
4	募 集 研 究 分 野	大分類	社会基盤
		小分類	建築構造、材料
5	勤 務 形 態	<p>常勤</p> <p>（任期 5 年、審査の上で 1 回限り 2 年間延長の可能性有）</p>	
6	応 募 資 格	<p>以下の要件を備えた人材を募集する。</p> <p>1) 博士または Ph.D.の学位を有すること、あるいは、着任日までに博士または Ph.D.の学位を取得できる見込みがあること。</p> <p>2) 建築構造学、建築材料学、建築耐震工学、建築防災学のいずれかの分野に対しての深い知識を持ち、その分野に関する大学院及び学部における建築学の教育</p>	

		<p>と研究について熱意を持って遂行できること。大学院では専門分野の教育及び研究を遂行でき、学部教育では建築構造学と建築材料学に関する実習科目を担当するとともに、建築学全般の基礎演習・実習科目（一部）を支援できること。</p> <p>3) 環境学研究科が推進する「持続性学」または「安全・安心学」に関連した先端的かつ挑戦的な研究が推進できること。</p> <p>4) 日本語及び英語で教育研究指導等を担当できる能力を有すること。</p>
7	待 遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> 東海国立大学機構名古屋大学職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html 給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110001585.html
8	応 募 期 間	2026 年 2 月 5 日 ～ 2026 年 4 月 17 日 必着
9	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	<p>[応募方法（提出書類の送付先）]</p> <p>A. 応募書類</p> <ol style="list-style-type: none"> 履歴書^注（住所欄にメールアドレスと電話番号を記載すること） 業績リスト^注（査読論文、その他論文、講演・口頭発表等、書籍等出版物、受賞歴、競争的資金等の研究課題、特許、指導歴・担当経験のある科目、委員歴、その他（社会貢献項目等）。論文等の書誌情報はそれぞれ過不足なく記載すること。） 人物・業績照会者（名古屋大学在籍者を除く）2名の連絡先 主要な原著論文（最大3編）の写し各1部 今までの研究概要、および教育経験等があればその概要（1,000字程度） 就任後の研究や教育等に関する抱負（1,500字程度） 類型該当性の自己申告書（「10.その他」を参照） <p>注)上記1)の履歴書と、2)の業績リストについては、名古屋大学が定める所定の様式で作成して提出すること。その際、各業績における応募者の役割（代表、分担等）を明記すること。なお、これらの様式は次の URL より入手できる。 https://www.env.nagoya-u.ac.jp/jobs/index.html</p> <p>B. 応募書類の提出方法</p> <p>以上の書類を1つの pdf ファイルにまとめ、ファイル名を応募者氏名として、応募期間内に下記にアップロードし、同時に応募確認の電子メールを送付すること。応募書類受領後に電子メールを返信するので、返信がない場合は「10.その他」に示す問合先まで連絡のこと。</p> <p>応募アップロード先：https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/mRZYmnpkRs2TKS8</p> <p>確認メール送付先 : saito@nuac.nagoya-u.ac.jp</p> <p>確認メール件名 : 教員応募確認・○○○○（○○○○は応募者氏名）</p> <hr/> <p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]</p> <ul style="list-style-type: none"> 書類審査の後、面接・プレゼンテーションを実施。面接・プレゼンテーションは2026年5月9日、5月10日のいずれかで実施予定。

		<ul style="list-style-type: none"> 面接実施、選考結果については電子メールで通知する。
10	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 本講座の教員は、環境学研究科都市環境学専攻建築学コース及び工学部環境土木・建築学科、並びに全学の教育を担当し、教務や庶務等の運営に関する業務も担当します。 本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンター： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロッキング（Diversity, Equity, Inclusion & Belonging : DEIB）推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html 名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。 2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員の機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、教職員として本学に応募される際、「類型該当性判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。類型該当性の自己申告書は以下からダウンロードしてください。 https://www.env.nagoya-u.ac.jp/jobs/index.html 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 面接に要する交通費は支給しません。 問合先 〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学 ES 総合館 517 室 名古屋大学大学院環境学研究科 都市環境学専攻 建築学系長 齋藤 輝幸 電話：052-789-5240 電子メール：saito@nuac.nagoya-u.ac.jp